



我が県土
支え育む
希望郷

美しい

県土づくりNEWS

2021年

10月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 207 号
令和 3 年 10 月 29 日発行
編集 県土整備企画室



復興支援10年
ありがとう

目次

- 2 橋梁上部工工事の安全祈願祭を開催！
【都市計画道路盛岡駅本宮線 杜の大橋工区】
- 3 橋梁上部工工事の安全祈願祭を開催！
【一般県道大ヶ生徳田線 徳田橋工区】
- 4 久慈川、閉伊川、甲子川、気仙川水系で
流域治水プロジェクトを策定！
- 7 砂防堰堤の工事が進んでいます！！
- 9 釜石地区の水門・陸間一斉閉鎖訓練を実施しま
した！
- 11 東北地方工事安全施工推進大会（SAFETY2021）
～岩手県会場での表彰式を開催しました～
- 12 大船渡港埠頭保安訓練を実施しました！
- 13 道路愛護団体等への感謝状贈呈式を行いました！
- 14 11月は公共建築月間です！

都市計画道路盛岡駅本宮線

杜の大橋上部工工事(4車線化)に現地着手しました！

都市計画道路盛岡駅本宮線 杜の大橋は、平成 18 年度に 2 車線で暫定供用していますが、周辺交通量の増加や災害時における輸送路確保に対応するため、今般、4 車線化の橋梁上部工工事に現地着手しました。



完成イメージパース

令和 3 年 9 月末

【都市計画道路盛岡駅本宮線 杜の大橋工区】

橋梁上部工工事の安全祈願祭を開催！

盛岡広域振興局土木部

県が整備を進めている都市計画道路盛岡駅本宮線杜の大橋工区（第2期）において、現地での橋梁架設工事着手に伴い、工事の安全を祈念するため、令和3年10月4日に工事受注者主催による「都市計画道路盛岡駅本宮線杜の大橋上部工工事安全祈願祭」を開催しました。

安全祈願祭には県、盛岡市及び工事関係者約30人が出席し、鍬入れ、玉串奉奠等の神事を行った後、高橋盛岡広域振興局長から「安全を第一に全力で取り組んでいく」と発注者挨拶をし、無事故・無災害での工事の完成を祈願しました。



切麻散米



鍬入れの儀



高橋局長挨拶

杜の大橋は、平成18年度の2車線暫定供用以降、関連する土地区画整理事業や国道46号盛岡西バイパスの完了に伴い、年々交通量が増加しています。

杜の大橋工区(第2期)は平成24年度に都市計画道路事業として認可、告示され、これまで中央公園高架橋の整備や関係機関との協議調整、準備工を進めてきました。令和3年10月からは現地での架設工事に着手します。杜の大橋上部工工事をはじめ、関連工事を鋭意進め令和7年度の供用開始を目指して工事を進めていきます。

位置図



冬期状況写真

(令和3年2月)



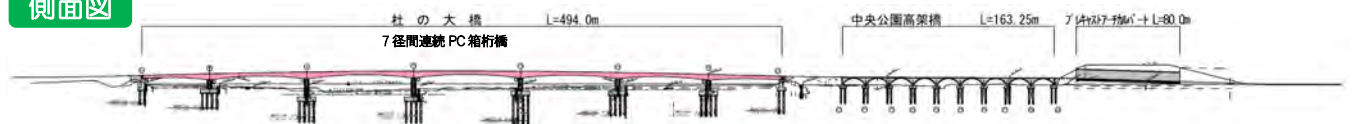
交通量の推移



平面図



側面図



【一般県道大ヶ生徳田線 徳田橋工区】 橋梁上部工工事の安全祈願祭を開催！

盛岡広域振興局土木部

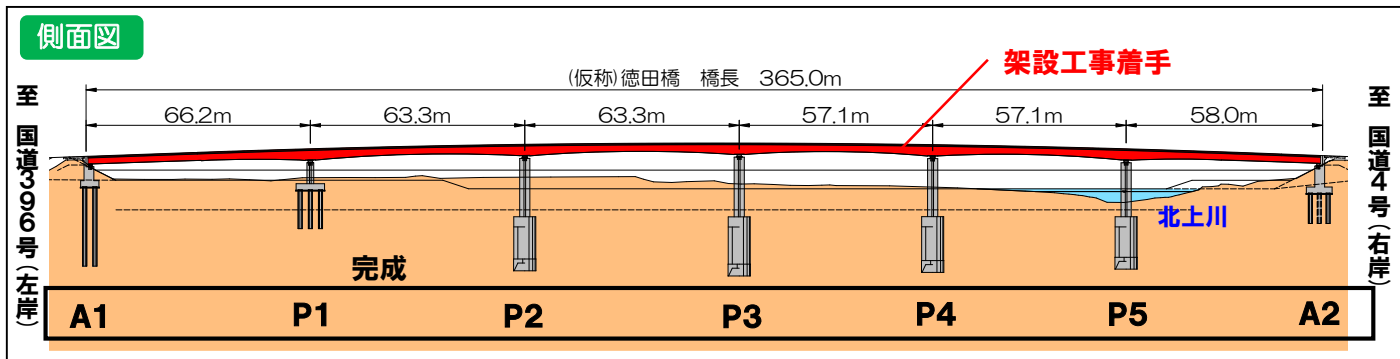
県が整備を進めている一般県道大ヶ生徳田線徳田橋工区において、現地での架設工事着手に伴い、工事の安全を祈念するため、令和3年9月28日に「一般県道大ヶ生徳田線（仮称）徳田橋上部工工事安全祈願祭」を開催しました。

安全祈願祭には県、盛岡市、矢巾町、工事関係者約20人が出席し、玉串奉奠等の神事を行った後、高橋盛岡広域振興局長から「令和5年度の供用開始を目指し、全力で取り組んでいく」と発注者挨拶をし、無事故・無災害での工事の完成を願いました。



現在の徳田橋は、昭和37年に架けられてから55年以上が経過しており、老朽化が著しく、橋が狭くすれ違いがしづらいことなどから、徳田橋の架け替えを進めています。

平成29年秋から工事が始まり、令和3年8月にA2橋台が完成し、全ての下部工の施工が完了しました。 令和2年7月から進めてきた上部工については、橋桁の工場製作が完了し、令和3年10月からは、現地での架設工事に着手します。 新しい徳田橋は令和5年度の供用開始を目指して工事を進めていきます。



久慈川、閉伊川、甲子川、気仙川水系で 流域治水プロジェクトを策定！

河川課

○「流域治水」とは

- ・ 近年、激甚化・頻発化する自然災害から住民の生命や財産を守るため、**流域のあらゆる関係者がハード・ソフト両面にわたり協働して取り組む治水対策である「流域治水」を推進することが重要**です。
- ・ このことから、国は、全国全ての109の一級水系において、令和2年度末に「流域治水プロジェクト」を策定し、流域治水の取組を進めています。

～「流域治水」の取組例～



図出典： https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/pdf/01_kangaekata.pdf

○本県の取組状況

- ・ 平成28年台風第10号や令和元年東日本台風などにより大規模な災害が発生した本県においても、令和3年3月に小本川水系で、9月までに久慈川、閉伊川、甲子川及び気仙川水系で、「流域治水プロジェクト」を策定しました。

「流域治水プロジェクト」とは？

水害を軽減させるための様々な対策とその実施主体を明らかにし、対策のロードマップ等を示して公表することで、流域治水の取組の全体像を、住民を含めた流域の関係者で共有し、**ハード・ソフト一体の事前防災対策を推進**していくものです。

○「流域治水協議会」について

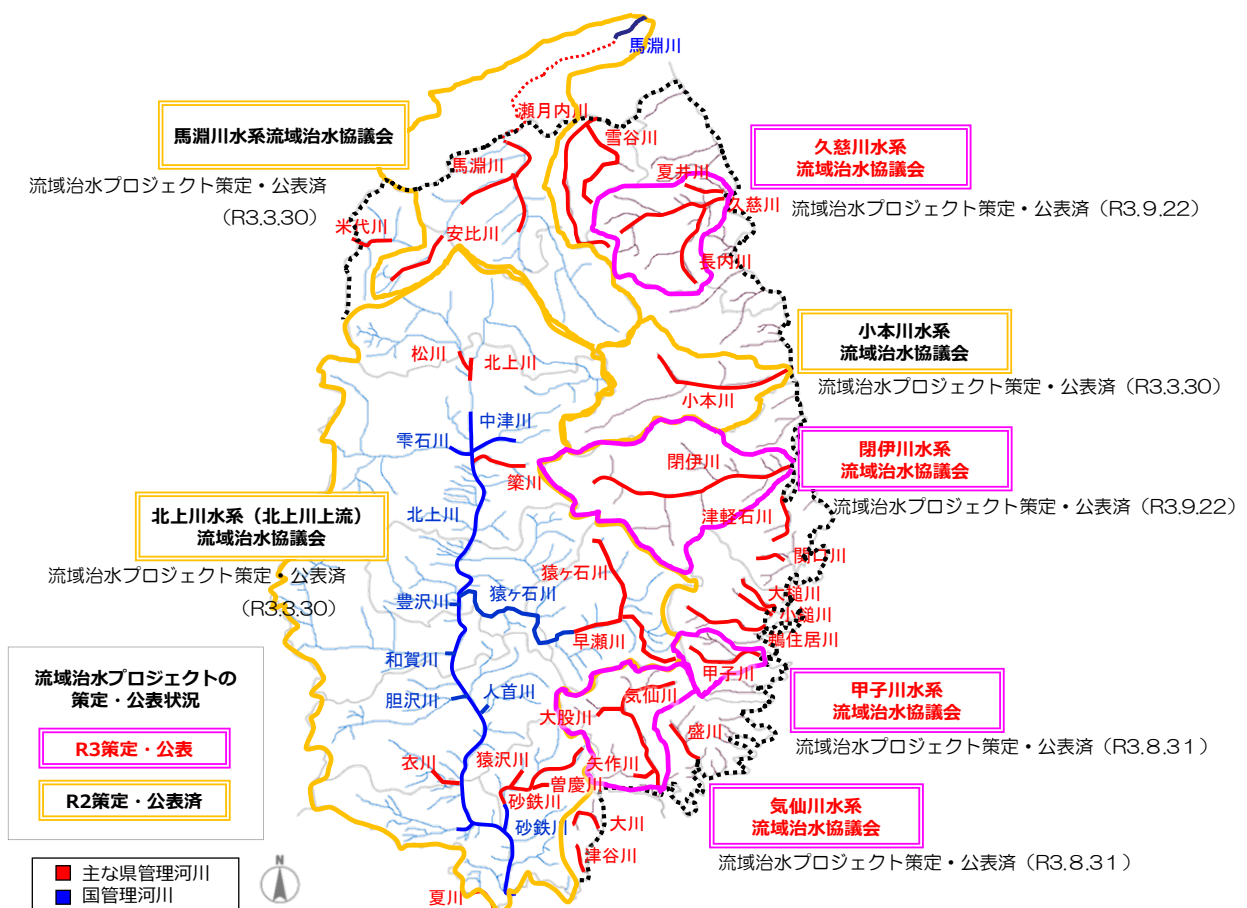
・ 流域治水の推進のためには、水系のあらゆる関係者との協働・連携体制を構築することが重要です。このため、各水系で「流域治水協議会」を設置し、構成員とともに「流域治水プロジェクト」を策定し、取組を推進することとしています。



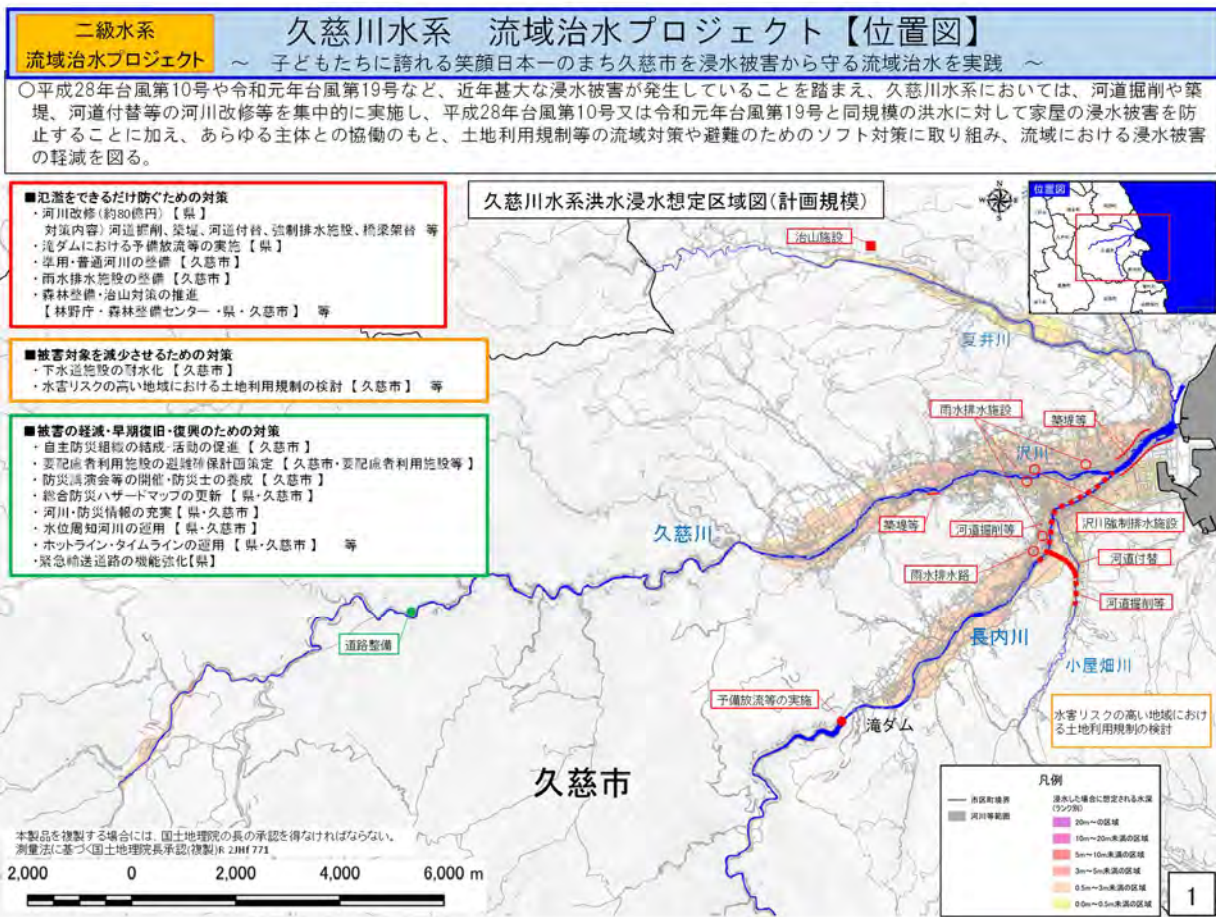
「流域治水プロジェクト」の内容は？

各水系の流域治水プロジェクトでは、国、県、市町が連携して、河道掘削、堤防整備等を着実に実施していくほか、砂防施設の整備、治山対策、森林整備、市街地の雨水対策、土地利用規制や宅地嵩上げの検討、避難のためのソフト施策等を各水系の状況に応じて組み合わせ、水害の軽減を図ることとしています。

～岩手県内における流域治水協議会と流域治水プロジェクトの策定状況～



～流域治水プロジェクト策定例(久慈川水系)～



【平成28年台風第10号の土砂災害対策施設整備】 砂防堰堤の工事が進んでいます！！

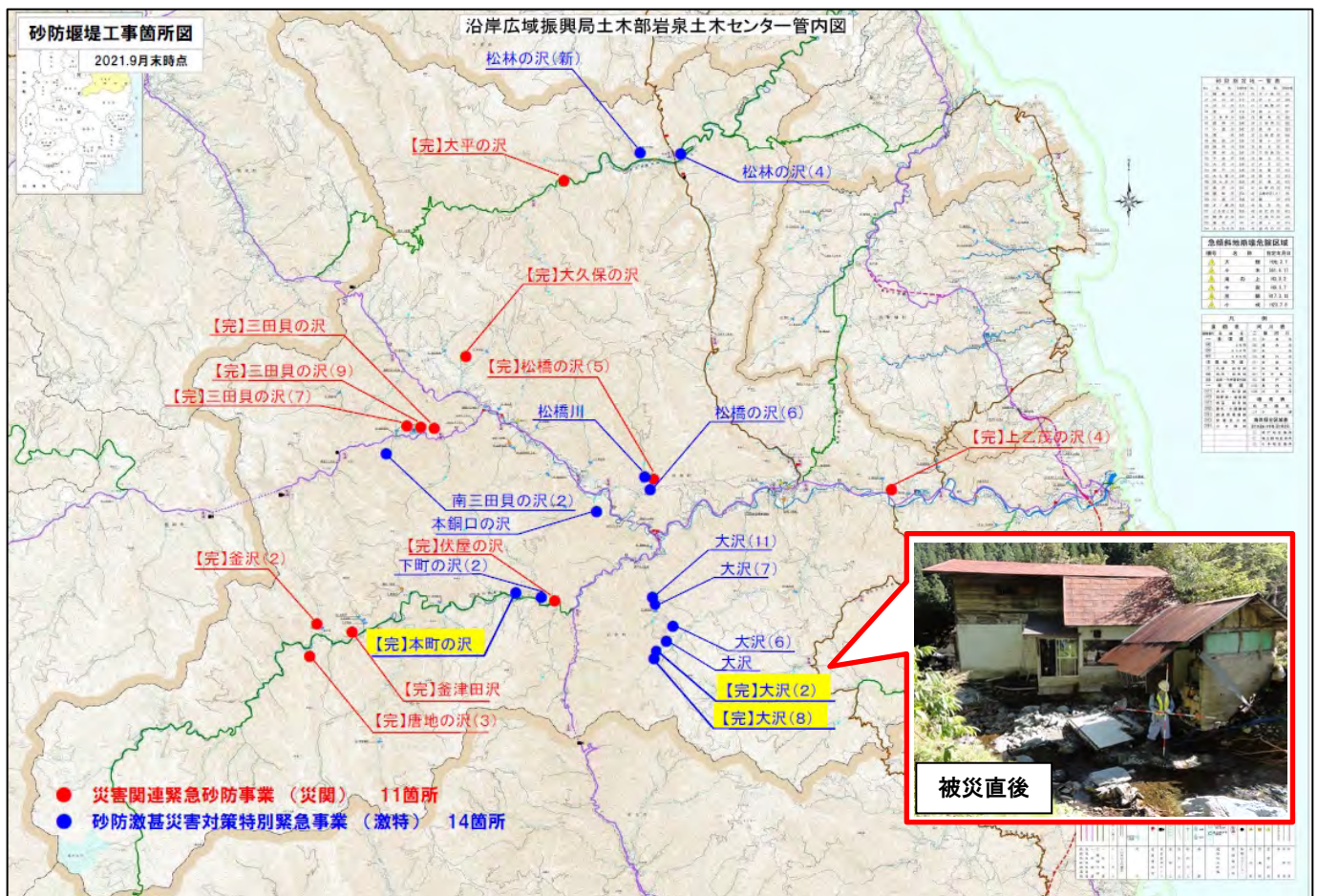
沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター

平成28年台風第10号に伴う豪雨により、岩泉管内で120箇所の土砂災害が発生しました。このうち、土石流による家屋への被害が大きかった箇所や、今後の出水により下流に著しい被害を与えるおそれがある25箇所において、砂防堰堤工事を進めています。

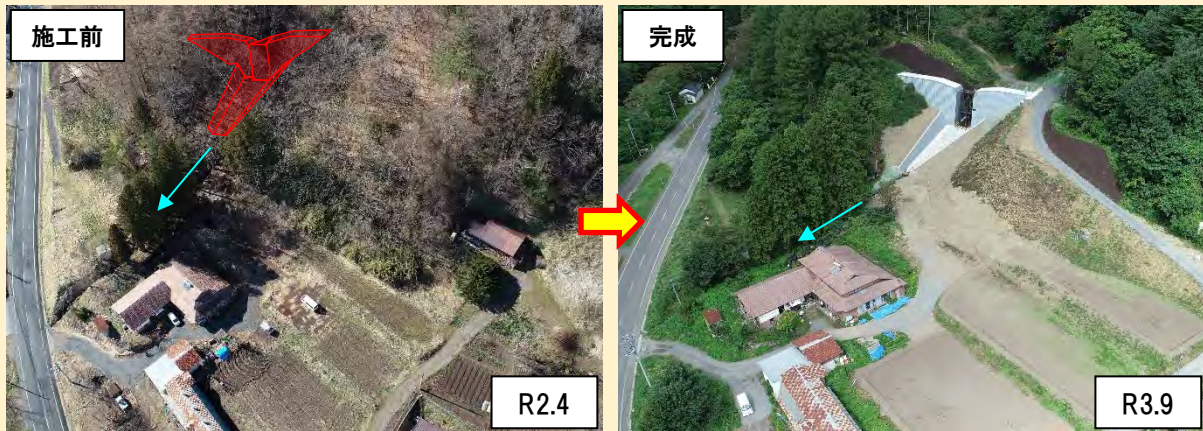
令和3年3月末時点で11箇所の砂防堰堤が完成しておりましたが、このたび令和3年9月末までに、本町の沢、大沢(2)、大沢(8)の3箇所が新たに完成しました。

台風による被害が発生してから、今年で5年の月日が経ちました。近年、全国各地で発生し関心が高まる土砂災害への備えとして、当センターでは砂防堰堤をはじめとした対策施設の整備(=ハード対策)と、土砂災害から自分の身を守る防災意識の醸成を目的とした出前講座等の実施(=ソフト施策)に取り組んでいます。

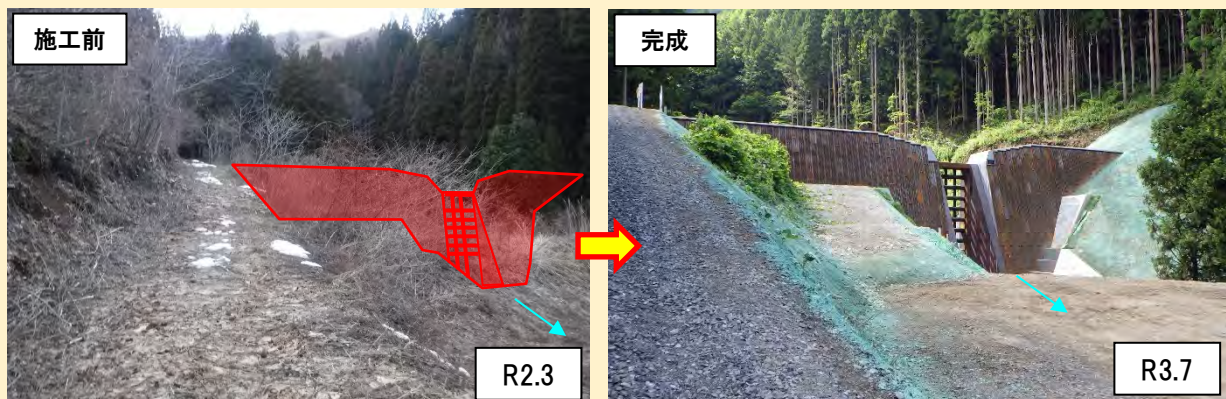
今後も引き続き、地元住民の皆様の安心・安全の確保のため、施工中の砂防堰堤の早期完成を図っていきます。



本町の沢砂防堰堤工事(岩泉町大川字寺庭地内)



大沢(2)砂防堰堤工事(岩泉町浅内字大沢地内)



大沢(8)砂防堰堤工事(岩泉町浅内字大沢地内)



釜石市の地震・津波避難訓練週間に合わせて、 「釜石地区の水門・^{りっこう}陸閘一斉閉鎖訓練」

を実施しました！

沿岸広域振興局土木部

沿岸広域振興局土木部では、**釜石市の地震・津波避難訓練週間（9/1～7）**に合わせて、令和3年9月7日（火）に釜石地区の水門・陸閘の一斉閉鎖訓練を実施しました。釜石地区の一斉閉鎖訓練は昨年度に引き続き**3回目**となりますが、今回の訓練では、釜石市役所（制御所）からの一斉閉鎖のほか、釜石消防署（制御所）及び県庁河川課（第一統制局）からの開放操作も併せて実施しました。

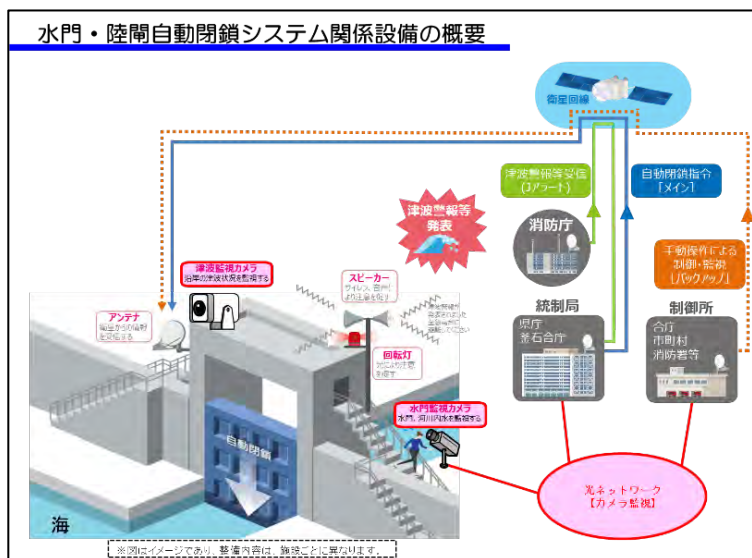
各水門・陸閘では、職員が閉鎖動作を確認し、全閉後は職員の操作訓練を兼ねて開放操作を実施して地震・津波が発生した際の閉鎖・開放の手順を確認しました。

1 釜石地区の水門・陸閘一斉閉鎖訓練の概要

釜石地区では、水門・陸閘23箇所（市役所管理含む）において、「水門・陸閘自動閉鎖システム」を採用しており、**令和3年7月に全箇所運用開始**しました。

水門・陸閘自動閉鎖システムは、全国瞬時警報システム（Jアラート）を契機に衛星回線を通じて、統制局又は制御所から各水門・陸閘へ自動的に閉鎖指令を伝達するシステムです。

今回の一斉閉鎖訓練は、水門・陸閘自動閉鎖システムの効果を検証して今後の運用に役立てること、施設管理者の操作訓練を行い、水門陸閘の開閉操作の習熟を図ることを目的に、県庁河川課（第一統制局）、沿岸広域振興局（第二統制局）、釜石市役所（制御所）、釜石消防署（制御所）が連携して実施しました。



訓練は、午前9時30分に岩手県沖を震源とする地震が発生、釜石市で震度6強を観測し、午前9時33分に大津波警報が発表され、午前10時頃に釜石市へ津波が到達する想定で行いました。水門・陸閘23箇所のうち15箇所を対象として、釜石市役所（制御所）から一斉閉鎖操作を実施しました。

2 水門・陸閘一斉閉鎖訓練の結果

午前9時33分に釜石市役所（制御所）から閉鎖指令を受令した各水門・陸閘では、安全周知設備（サイレン・スピーカ・回転灯・電光表示板等）が作動して施設の周辺にいる人に避難を知らせます。午前9時36分に閉鎖動作が開始し、**すべてのゲートが全閉**しました。その後、各水門・陸閘で職員が閉鎖状況の確認を行い、異常がないことを確認しました。



鵜住居川水門 全開



鵜住居川水門 全閉

全閉後、各水門・陸閘において、職員が現地で開放操作を行いました。また、釜石消防署（制御所）及び県庁河川課（第一統制局）からも遠方開放操作を行い、操作方法の確認を行いました。午前11時51分に無事訓練は終了しました。



小白浜陸閘 閉鎖の様子



須賀水門 閉鎖の様子

今回の訓練の結果を関係機関と共有して、今後の運用に役立てていきます。

水門・陸閘を安全かつ迅速・確実に閉める体制を維持するため、引き続き閉鎖訓練を実施してまいります。

沿岸広域振興局土木部の SNS では、復興工事の進捗状況や見学会等の様子を掲載しておりますので、ぜひご覧ください！

Twitter → https://twitter.com/engan_doboku

Facebook → <https://www.facebook.com/iwate.engandoboku/>



東北地方工事安全施工推進大会 (SAFETY2021)

～岩手県会場での表彰式を開催しました～

建設技術振興課

東北地方工事安全施工推進大会実行委員会(委員長:国土交通省東北地方整備局長)は、平成2年度から毎年、東北6県合同で「東北地方工事安全施工推進大会(SAFETY)」を開催し、安全施工に貢献した現場代理人と、実行委員会が募集した「安全に関する論文」の表彰を行っています。

今年度は、昨年度に続き新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえ、各県単位で表彰式を行うこととなったため、令和3年10月18日、岩手県会場(岩手県盛岡地区合同庁舎)において、優良企業(現場代理人)表彰13名、優秀論文表彰2編、計15名の方が受賞されました。

東北地方工事安全施工推進大会 (SAFETY) について

東北地方において発注される公共工事について、無事故無災害を目的とした取組みの一環として平成2年度から実施。特に安全管理に優秀な工事について、直接安全管理に寄与した現場代理人及びその現場代理人を育成した企業に対して、より一層の安全管理意識の向上と貢献を称えるために行う。

国土交通省東北地方整備局、東北6県、仙台市、東日本高速道路株式会社、一般社団法人東北地域づくり協会及び15業団体で実行委員会を組織し、東北地方における公共工事の安全施工の啓発と事故撲滅を目的とし、毎年開催している。

優良企業 (現場代理人) 被表彰者

発注者	工事名	請負業者名	氏名
国土交通省 東北地方整備局	岩手河川国道事務所 一関遊水地磐井川地区築堤他工事	工藤建設 株式会社	芳賀 翔太
	三陸国道事務所 盛岡国道管内橋梁補修工事	ショーボンド建設 株式会社 北東北支店	阿部 勉
	南三陸沿岸国道事務所 国道45号洋野南IC地区道路改良工事	大日本土木 株式会社 東北支店	伊藤 毅
	北上川ダム統合管理事務所 古田地区舗装工事	大成ロテック 株式会社 東北支店	平塚 悟史
	釜石港湾事務所 大巻根地区災害復旧工事	株式会社 小田島組	伊藤 敏生
岩手県	釜石港湾事務所 湯田ダム法面対策工事	株式会社 佐藤組	及川 善倫
	大船渡土木センター 久慈港湾口地区防波堤本体工事(その2)	東洋建設 株式会社 東北支店	箱崎 篤志
	大船渡土木センター 久慈港湾口地区防波堤本体工事	りんかい日産建設 株式会社 東北土木支店	中平 健
	大船渡土木センター 一般国道340号今泉地区道路改良舗装その2工事	株式会社 たかしん興業	晴山 英夫
	大船渡土木センター 二級河川気仙川筋昭和橋橋梁架替(仮設歩道橋)工事	株式会社 小田島組	菅野 竣允
	一関土木センター 一般国道343号(仮称)新洪民橋(上部工)工事	北日本機械 株式会社	石渡 文士
	大船渡土木センター 主要地方道大船渡広田陸前高田線久保～泊地区舗装(その2)工事	株式会社 伊藤組	佐藤 智
東北広域振興局土木部 主要地方道野田山形線小国地区道路災害防除(A260)工事	蒲野建設 株式会社	中澤 卓男	

「安全に関する論文」被表彰者

推薦機関	論文タイトル	会社名	氏名
一般社団法人 日本建設業連合会 東北支部	同時に進めよう！ICT活用と安全管理の強化	西松建設 株式会社 北日本支店	武者 伸幸
	「ロールプレイによる安全なトンネル施工サイクルの確立」	大成建設 株式会社 東北支店	小林 太門



【SAFETY2021 岩手県会場 開催状況】



大船渡土木センターでは、令和3年9月28日（火）に、大船渡港野々田地区コンテナふ頭において、「大船渡港埠頭保安訓練」を実施しました。

本訓練は、テロなどの緊急事態発生時等において、迅速かつ適切に対応するための知識及び能力を身に付けるとともに、関係各機関等の連携強化を図るために、年1回実施しています。

今年度は、10機関64名が参加し、岸壁に着岸中の外国貨物船にテロリストが1名乗船、さらにもう1名が上陸して身を潜めているという想定の下で、訓練を実施しました。

本訓練の成果を踏まえ、引き続き、大船渡港のテロ対策に努めていきます。



- 訓練内容 ※【】内は実施主体
- ・ 保安措置移行訓練【大船渡土木】
 - ・ 避難誘導訓練【大船渡土木】
 - ・ 船内検索訓練【釜石海上保安部】
 - ・ 不審者発見拘束訓練【大船渡警察署】
 - ・ 負傷者救助訓練【大船渡消防署】
 - ・ 船内搜索訓練【大船渡税関】
 - ・ 事態収束後の構内点検【大船渡土木】



大船渡港埠頭保安委員会 代表者コメント（抜粋）

◆ 大船渡港埠頭保安委員会委員長（大船渡土木センター 馬場所長）
 さまざまな関係機関が埠頭の保安に携わっており、連携・確認の必要性を確認できた。これからの取組に生かしていきたい。

◆ 大船渡港危機管理担当官（大船渡警察署 高橋署長）
 昨今の国際テロ情勢を踏まえると、引き続き、関係機関の連携・対策が必要。その意味で今回の訓練は、関係機関の連携を確認する上で重要だった。今後も、対処能力をさらに上げてもらいたい。

道路愛護団体等への 感謝状贈呈式を行いました！

道路環境課

国土交通省及び岩手県では、8月の「道路ふれあい月間」事業の一環として、道路の清掃や環境美化をはじめとする道路愛護等に功績のあった個人又は団体に対し、感謝状を贈呈しています。

今年度、本県では国土交通大臣感謝状を1団体が、岩手県知事感謝状を3団体が受贈しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、贈呈式は各広域振興局等において行いました。

★ 国土交通大臣感謝状 受贈団体 ★

● 東長岡中央自治公民館（紫波町）

昭和45年に設立されて以来、51年間にわたり継続して花壇清掃及び道路清掃活動を行っており、平成12年度には岩手県知事表彰を受賞しています。

特に、紫波町内で年2回行われる町の一斉環境美化活動時には、東長岡地域全世帯（41戸）が道路清掃活動を行っており、快適な道路環境の保持に努めています。



★ 岩手県知事感謝状 受贈団体 ★

● 弥栄5区部落会（一関市）

一関土木センター管内において、平成19年度から住民協働による草刈業務を実施しており、14年間にわたり適切な道路状態の保全に貢献しています。

● 京津畑農業生産組合（一関市大東町）

13年間にわたり住民協働による草刈業務委託を実施し、千厩土木センター管内において最も長い延長（約12.2km）を作業しています。また、ボランティアの清掃作業も積極的に行っています。

● 川井大自然交流実行委員会（宮古市）

33年間の長きにわたり道路の環境美化に努め、毎年6月に行われる「閉伊川釣り大会」に合わせごみ拾いを実施するなど安全で快適な道路環境の整備に貢献しています。



弥栄5区部落会



京津畑農業生産組合



川井大自然交流実行委員会

11月は公共建築月間です！

建築住宅課

公共建築とは？

公共建築は、地域の活性化、生活・文化水準の向上、街並み・景観の形成等を図るうえで重要な役割を担っています。皆様の周りには、**学校**や**図書館**、**博物館**などの多くの公共建築物があります。本県においては、一般社団法人公共建築協会が開催する第17回公共建築賞*1「公共建築賞・優秀賞」に住田町役場が選ばれました。

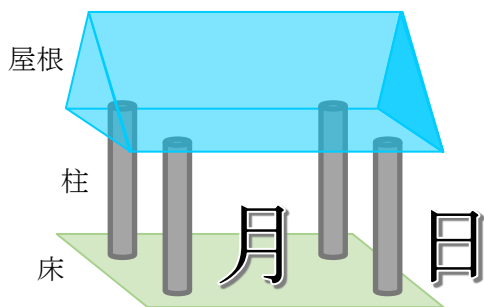


公共建築賞・優秀賞に選ばれた「住田町役場」
出典：住田町ホームページ

*1 公共建築賞とは

優れた公共建築を表彰することにより公共建築の総合的な水準の向上に寄与することを目的とし、一般社団法人公共建築協会の創立20周年を記念して、昭和63年より建設省（現：国土交通省）及び全国知事会の後援により、一年おきに開催しているもの。

公共建築月間とは？



公共建築月間である11月は「巡回建築パネル展」として、東北6県の公共建築に携わる各機関が行っている業務や役割、施策への取り組みを紹介します。

建築の基本的な構造を象徴とする**4本の柱**のイメージと、公共建築の代表格である国会議事堂の完成が昭和11年11月であったことから、平成15年より11月11日が公共建築の日となりました。そして、**11月11日の公共建築の日**を含む**11月**が公共建築月間とされています。



令和2年度の巡回建築パネル展の様子

「巡回建築パネル展」
県庁1階 県民室にて開催
11/22～11/26まで

お問い合わせ先

場所：岩手県庁8階 建築住宅課

施設整備担当

電話：019-629-5959

FAX：019-651-4160